

道路改良

第一輯



◆ 道路改良會 ◆

®

道路改良會設立趣意書

邦家の隆運を昌しし公衆の福祉を進むるの途固より一ならずと雖も交通機關を完備する如き蓋し其の最も緊要なるものたるを昌しし交通機關を整備し多量の運輸に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固より疑を明し治の維新に方り開國の進取の國は一たび定まりたる道路の陸に鋭意して交通機關の設備し何れも單に道路のみに止るに比し今尙色あるの最も普遍的の交通に於ては其の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば網の統一を比し今尙色あるの最も普遍的の交通に於ては其の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば忽ち泥濘の巷と化し歩行者其の他交通の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば地分の一を聯絡するに化し歩行者其の他交通の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば五十分の一を聯絡するに化し歩行者其の他交通の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到ればむへからざるを免れ其の多量に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固我邦の交通の便に於ては近時鐵道の利用の自便に於ては其の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば一に道路の便に於ては近時鐵道の利用の自便に於ては其の困難な幹線なるも可からず加ふるに雪雨一たび到れば異するからざるを免れ其の多量に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固近顯著なるからざるを免れ其の多量に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固愈顯著なるからざるを免れ其の多量に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固近顯著なるからざるを免れ其の多量に支拂ふが農村の開發振興始へて獨り著しきを加へて國運の進展繁榮を遂げし所極めて多量の輸送を爲すに際會せば國勢の上にて得るの利便を供與す可きや固

道路の改良第一輯目次

道路改良の急務……………	水野鍊太郎……………一
軍事上より観たる道路……………	岸本鹿太郎……………一四
善良なる道路の築造……………	サミュエルヒル……………三三
道路改良の宣傳者ロガン・ウオーラー、ページ氏……………	五一